



# 石巻広域クラブ通信

<No.74>

THE Y'S MEN'S CLUBS OF GREATER ISHINOMAKI  
CHARTERED MAY 28, 2016

YMCA-ISHINOMAKI-CENTER  
KyuEikoyochienchinai2-12-3, Okaidokita,  
Ishinomaki, 986-0854, Japan

〒986-0854 石巻市大街道北 2-12-3  
旧栄光幼稚園 2階 YMCA 石巻センター  
電話 090-6252-7970(日野)090-2365-7940 (清水)

2022年10月号

E-mail: [gishinomaki@gmail.com](mailto:gishinomaki@gmail.com)

E-mail: [koichi1839@outlook.jp](mailto:koichi1839@outlook.jp)

== 2021-2022年度 主題 ==

クラブ会長 青木満里恵 「感謝を胸に、連携し、活動を広げよう！」  
北東部部長 大久保知宏(宇都宮) 「クラブのミッションを育てよう」  
東日本区理事 「未来に向けて今すぐ行動しよう」  
アジア太平洋地域会長 シェン・チ・ミン(台湾) 「新しい時代とともに、エレガントに変化を」  
国際会長 K・C・サミュエル(インド) 「フェロシップとインパクトで次の100年へ」

<今月の聖句>

「人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい。」  
<ルカによる福音書 6:31>

<強調月間> ASF (アレキサンダー奨学基金)

## 10月第一例会プログラム

日時 10月28日(金) 18:30~20:30

場所 YMCA 石巻センター

月当番 石川光晴 青木満里恵

司会 石川光晴

1. 開会点鐘 石巻広域クラブ会長 青木満里恵
2. ワイズソング 一同
3. ゲスト・ビジター紹介 清水書記
4. 会長あいさつ 石巻広域 青木満里恵
5. 聖句朗読・食前感謝 関川祐一郎
6. 食事・懇談 一同
7. ゲストスピーチ (プロフィールは5P参照)  
仙台日伊協会理事 支倉 紀正 (支倉常長末裔)  
テーマ: 「支倉常長と私とのかかわり」
8. 諸報告とアピール クラブ担当
  - (1) クラブ年内スケジュールについて
  - (2) 飛田晋秀写真展開催報告
  - (3) YMCA 報告・その他
9. ハッピーバースデー 会長  
10/12: 大林祐子さん、10/21: 姉齒瑠美さん
10. ニコニコ 「国際・地域協力募金のために」 会計
11. 閉会挨拶と点鐘 クラブ会長 青木満里恵

## ASF強調月間とワイズメンズクラブ

### 国際協会創立 100周年

会長 青木満里恵

ワイズメンズクラブ国際協会は今年で100周年を迎え、世界中でさまざまなプログラムが進められています。今月の強調月間はASF(アレキサンダー奨学基金)にあたり、事業の意味と現状、国際協会ASF事業主任からのメッセージを紹介し、本事業の理解を深めたいと思います。

ASFは、主にYMCAの奨学金や研修プログラムを提供するために、世界的および地域的にYMCAを財政的に支援してきました。



この基金は1954年、米国ミシガン州ランシングで開催されたワイズメンズクラブ国際協会・国際大会においてスタートしました。国際協会の創設者であるポール・ウィリアム・アレキサンダー判事の肖像画を有名画家に描いてもらうために募金が行われたのです。<次頁につづく>

9月データ/10月号内容: ASF 強調月間と100周年、9月合同例会・10月拡大役員会報告、福幸コンサート報告、切支丹殉教者合同慰霊祭報告、YMCA 報告等

会長 青木 満里恵  
副会長 石川 光晴  
" 姉齒 一紀  
書記 清水 弘一  
会計 櫻井 美智江  
直前会長 日野 峻  
担当主事 斎藤 勉

例会出席	23名	在籍会員数	21名	各種記録	月実績	年度累計
メンバー	9名	月間出席者	9名	スマイル	13,029円	23,150円
ビジター	9名	メーキャップ	2名	ファンド	0円	0円
ゲスト	5名	月間出席率	52%	BF	0円	0円

<前頁よりつづく>

しかし彼は「もったいない」と思い、より安く済む、有名な写真家による肖像写真とすることにしました。そして、募金の残りの約900ドルは、この国際協会のプログラム立ち上げのために使われたのでした。

## 今月の強調月間テーマ「ASF」

### アレキサンダー奨学基金

YMCAへの私たちの思いを込めて

国際ASF事業主任  
田中博之（東京多摩みなみ）

10月はアレキサンダー奨学金（ASF）の強調月間です。

この機会にASFのことをもっと良く知っていただき、このプログラムへの皆さまの一層のご支援をお願いいたします。

ASFは、ワイズメンズクラブ国際協会の創設者であるポール・ウィリアム・アレキサンダー判事の志を受け継いで、彼の名前に因んで、1954年に設立されました。

以来68年間、ASFは、主にYMCAスタッフやYMCAに繋がる青少年のための奨学金や研修プログラムを提供し、世界各地のYMCAを財政的に支援してきました。ASFは、私たちのYMCAとの密接な関係の証しです。

東日本区を含め、各区でASFのために集められた献金の30%は、国際ASF献金として国際本部に送られます。このお金は、世界YMCA同盟と協議の上、世界レベルの運動の特定の目的のためにYMCAに寄付されることになっています。近年では、毎年10,000スイスフラン（145万円）以上が国際ASF献金として送られてきています。この基金は、例えば、若いYMCA会員が地域社会の変革者となるための「チェンジエージェント」活動の支援、

2019年8月にロンドンで開催されたYMCAの175周年記念式典の支援、新型コロナウイルスの流行によって困窮している世界各地のYMCAを支援するための「YMCA連帯基金」への拠出などに使用されています。

残りの70%は、各区で保持され、その地のYMCAスタッフやユースリーダーの研修、育成に活用されています。東日本区では、CS献金と合わせて、CS・Yサ・ASF資金として、2021-2022年度には、日本YMCA同盟の要請に基づいて、「全国YMCAリーダー研修会」、「学生YMCA夏季ゼミナール」、「日韓学生YMCA交流会」および「全国YMCAオンライン研修会」に、総額100万円の支援を行いました。

2021-2022年度のアジア太平洋地域各区の国際ASF献金の実績（合計金額および会員一人当たりの献金額：スイスフラン）は、下図のとおりです。東日本区の皆さまのご支援に感謝申し上げるとともに、今年度、一層のご協力をお願い申し上げます。



## 9月合同(仙台青葉城)例会報告

日時 2022年9月16日(金) 18:30~20:30

場所 YMCA 石巻センター

出席者 仙台青葉城: 涌澤博、加藤重雄、加藤真子、菊地弘生、バートルエルデネ ダライ

石巻広域: 青木満里恵、石川光晴、大林健太郎、川上直哉、櫻井美智江、斎藤勉、千葉徳正、日野峻、清水弘一、平井順子(MC)

ゲスト: 飛田晋秀、近藤武文、小原真喜子、長沼利枝(飛田晋秀写真展実行委員会の皆さん)

ZOOM: 南澤一右、佐竹晋太郎、大野勉、大野智恵、山田滋己

1. 開会点鐘 会長
2. ワイズソング 一同

3. ゲスト・ビジター紹介 書記
4. 会長あいさつ 石巻広域クラブ 青木満里恵  
仙台青葉城クラブ 涌澤博
5. 両クラブメンバー自己紹介
6. 聖句朗読・食前感謝 川上直哉
7. 食事と懇談 一同
8. ゲストスピーチ
  - (1) フクシマ写真家 飛田晋秀様  
テーマ:「福島」の記憶」
  - (2) 仙台青葉城クラブ 加藤重雄・加藤真子 様  
バートル エルデネダライ 様  
テーマ:「ランドセルギフトモンゴル訪問記」
9. 諸報告とアピール 両クラブ担当
10. ハッピーバースデー  
9/8: 林昭宏、9/21: 大林健太郎、9/29 川上直哉



「思い出のランドセルプロジェクトのために」

### < 9月合同例会報告 >

2022年9月16日、仙台青葉城クラブとの9月合同例会が行われました。この日の例会では、「ランドセルプロジェクト」のモンゴル報告と、「飛田晋秀写真展」の開催に向けた講演が行われました。

2011年の「3.11」の津波被災地には、全国から「ランドセル」が寄付され集まってきました。それは本当に、被災者の力となりました。最初、それは「中古」のランドセルでした。全国から「お手紙」等と共に、心を込めて、ランドセルが届いたのです。ただ、しばらくしますと、ランドセル業者さんが「新品」のランドセルの支援を開始しました。当然、そして残念ながら、「中古」のランドセルは、行き先を失いました。そのようにして、各地にランドセルが、送ってくださった方の想いと共に、残されてしまったのです。

そうしたランドセルを、活かしたい。そう思って、私たちは全国のワイズの同志と共に、「ランドセルプロジェクト」を開始しました。私たちの動きは、石巻桃生ライオンズクラブ様にも繋がりました。あっという間に、1000個を超えるランドセルが集まってきたのです。そして、私たちの動きは「東北モンゴル友好協会」様につながりました。500個を超えるランドセルが、モンゴルへと届けられました。繋いでくださった仙台青葉城クラブの加藤さんご夫妻が、モンゴルまで行って下さいました。その報告を、9月の例会にお願いしたことでした。さらに、今年の11月24日には、石巻桃生ライオンズクラブ様の例会に、清水さん・加藤さんが出席されます。被災地の支援事業が、被災後の日常の枠を広げて行くこと。そこに「復興」の可能性を見えています。

そして、2022年10月21日から三日間、石巻に新しくできた文化センター「まきあーとテラス」にて、「飛田晋秀写真展」が開催されています。石巻広域クラブも協力しています。この写真展は、「津波被災地」と「原発事故被災地」をつなごう、という志をもって開催されるものです。これも、被災後の日常を広げて行く「復興」の努力だと思います。

石巻広域クラブの「写真展」への協力として、9月の例会では、ランドセルの報告と共に、写真家 飛田晋秀さんのご講演をいただきました。この日、飛田さんは朝から来石され、門脇小学校の震災遺構をご覧になってから、現地「まきあーとテラス」の下

見をなさいました。そして、当日に展示します写真をモニターに映写して、Zoom参加の方と共に、原発被災地の今を見つめる時を持ってくださいました。飛田さんは2011年からずっと、弛まず今まで、原発被災地に入り、写真を撮り続けておられます。危険な目にも遭い、また「原因不明」とされる病も患いながら、現実を切り取り続けておられます。今、強制避難地とされた多くの場所で、新しい施設が建造され、たくさんの人が戻り、あるいは作業に従事しています。しかし、その足元の空間放射線量は、震災前であれば「全員退避」が義務付けられる数値を示し続けています。それでも、放射線・放射能は目に見えませんが、「復興」が印象付けられ、問題が忘れ去られて行く。そこに、その土地に生まれ育った人々の痛みだけが取り残されて行く。そうしたことに、飛田さんは怒りを隠されませんでした。

石巻で開催された「飛田晋秀才 写真展」は、NHKの朝のニュースにも取り上げていただき、盛会の内に進んでいます（この原稿は、第二日目に書いています）。津波の被災者としての痛みを大切に、原発被災地を見つめてくださる方の声が残されています。その大切な催事の応援として、9月の例会は行われたことでした。  
(川上直哉記)

①



②



③



④



⑤



⑥



- ① 参加者一同
- ② 飛田晋秀さん
- ③ パートルエルデネ・ダライさん
- ④ 涌澤会長他青葉城メンバー
- ⑤ 写真展への献金
- ⑥ 例会風景

## 10月拡大役員会報告

日 時 2022年9月9日(金) 18:30~20:30

場 所 YMCA 石巻センター

出席者 日野峻、青木満里恵、川上直哉、大林健太郎  
清水弘一

1. 開会点鐘 青木会長
2. ワイズソング 一同
3. 会長あいさつ 青木会長
4. 軽食
5. 報告事項

(1) 9月合同(仙台青葉城クラブ)例会の開催報告

日 時 2022年9月16日(金) 18:30~20:30

場 所 YMCA 石巻センター

内 容 2~3頁の例会報告参照

(2) 3.11 こども文庫9月開催について

日 時 2022年9月10日(土) 13:30~15:30

場 所 旧栄光幼稚園2階ホール

内 容 絵本読み聞かせ(①「ほしじいたけほしほ  
あたけ かえんたけにごようじん」②震災絵  
本「トミジの海」③紙飛行機作り ④リトミ  
ック ⑤民話素語り

(3) 大震災支援「福幸」コンサート in 宮城開催報告

日 時 2022年10月8日(金) 13:40~14:30

場 所 石巻市和渕小学校体育館

内 容 車イスギターリスト 川崎昭仁氏(長野県出  
身)によるロックコンサート東京2020パラリ  
ンピック開会式出演

主 催 ドリーム・メーカーあうん 代表 日野峻

後 援 石巻広域クラブ・4ワイズ連絡会議

(4) 切支丹殉教者合同慰霊祭参加報告

日 時 2022年9月17日(土) 10時~12時

場 所 一関市藤沢町 長徳寺

出席者 川上直哉牧師、大林健太郎、清水弘一

内 容 大籠キリシタン殉教公園開設25周年記念  
切支丹殉教者慰霊碑建立

(5) 石巻平和七夕2022実施報告(別冊報告書配布)

6. 協議事項 議事進行 青木会長

(1) 2022年10月第一例会開催について

日 時 2022年10月28日(金) 18:30~20:30

場 所 石巻センター

内 容 ゲストスピーカー 支倉紀正氏(支倉常長末  
裔) テーマ:「支倉常長の末裔として歩む道」

(2) 11月・12月の第一例会と拡大役員会について

①11月第一例会:11月25日(金) 拡大役員会:11  
月11日(金)

②12月クリスマス例会:12月18日(日) 17時~19  
時 拡大役員会:12月2日

\*仙台YMCAクリスマス会 12月9日(金)

(3) 北東部評議会と仙台広瀬川クラブ留学生日本語ス  
ピーチコンテストの開催

日 時 11月19日(土) 11時:北東部評議会

13時:留学生スピーチコンテスト

場 所 仙台YMCA会議室

出席義務者 会長、副会長、会計、書記、北東部役員

(4) ペルーBF代表来日延期について

予定:10月30日(日)~11月3日(木) 2023  
年3月に延期

(5) 石巻桃生ライオンズクラブ11月例会訪問

日 時 2022年11月24日(木) 18:30~20:30

場 所 問い合わせ中

内 容 ランドセルギフトモンゴル訪問の報告

(6) フクシマ写真家・飛田晋秀写真展の開催について

期 間:10月21日(金)、22日(土)、23日(日)

会 場:まきあーとテラス

(7) YMCA ストレッチヨガ教室(パート31)

日 時 2022年10月26日(水) 第一部:10時

~11時 第二部:11時半~12時半

場 所 石巻市営新蛇田集会所

(8) 3.11 こども文庫の会(第17回)の開催

日 時 2022年10月29日(土) 13:30~15:30

場 所 石巻センター

(9) 石巻と神戸を繋ぐチャリティーコンサート2023  
の実施案について

日 時 未定

目 的 ウクライナ避難者への支援チャリティーと  
したい(神戸ポートクラブ案)

(10) 荻浜津波の教え石「桜の木」の枯れ木対応の件

・地元植木職人に相談し再植樹木を決める。

・植木職人の手配を行う。(会長)

(11) 10月号クラブ通信原稿依頼について

①巻頭言:会長 ②例会報告:川上 ③大震災支援

コンサート報告:日野 ④合同慰霊祭報告:川上

7. 閉会あいさつと点鐘

青木会長

### ■ 今後のクラブスケジュール(11~12月)

11月拡大役員会	11月11日(金)	石巻センター
ランドセル実行委員会	11月14日(月)	Zoom19:30~
北東部評議会並びに留 学生スピーチコンテスト	11月19日(土)	仙台YMCA
石巻桃生ライオンズクラ ブ例会訪問	11月24日(木)	桃生町
11月第一例会(金)	11月25日(金)	石巻センター
12月拡大役員会	12月2日(金)	石巻センター
北東部大会	12月3日(土)	宇都宮市
YMCA ストレッチヨガ	12月7日(水)	新蛇田集会所
仙台YMCAクリスマス	12月9日(金)	仙台市民会館
3.11 こども文庫の会	12月10日(土)	石巻センター
2022クラブクリスマス例会	12月18日(日)	石巻センター



## 3.11 メモリアルプロジェクト

まさに『福幸』コンサート！！

直前会長 日野 峻

東日本大震災『福幸』コンサートが、10月7日(金)石巻市立和渕小学校で行われました。かの東日本大震災から11年半ほど経ちます。小学生はもちろん経験してません。それだけに、風化させない、誰しものが福幸でありたいことを願い、今の幸福を分かち合うことが大切ではないかと考え、このイベントを企画しました。

出演者は、東京パラリンピック開会式で布袋寅泰さんと共演した車いすのギタリスト川崎昭仁&Rikizoです。川崎さんいわく、障害者と健常者が一緒に仲良く共演することを何より大事にしている。そう在りたいし、そういう世の中になってほしいという願いを持って活動しているとのこと。このことは川崎さんが最初のお話の中でも触れてました。川崎さんのお子さんには小学校3年生の女の子がいますので、小学生相手のお話、やり取りは流石でした。お話は、突然の高熱で不自由な身体になったこと、好きなギター演奏を身体と相談して工夫して上達してきたこと、努力を重ねたら夢が叶うことがあるなど、子どもたちに具体的にわかりやすく話されました。

ロック演奏はとかく誤解されがちですが、表現の幅が広く豊富なのでした。2年生の女の子にエレキギターを弾かせたり、子どもたちにお馴染みのアニメソングや教科書に載っている音楽などを織り交せてくれました。またスタンディングで手拍子したり、踊ったりとイキイキと全身で楽しんでパフォーマンスする子どもたちの様子がありました。子どもたち代表の6年生の感謝御礼の言葉やプレゼントも感激ものでした。(↓写真：全校生徒と出演者)

このイベントが実現できたのも、仙台3クラブ、石巻広域クラブのご支援のおかげです。ありがとうございました。



## 次回開催のご案内

### 3.11 こども文庫の開催

<2022年>

第17回：10月29日(土) 13:30~

第18回：12月10日(土) 13:30~



### YMCA ストレッチヨガ教室

パート 32：2022年12月7日(水)

10:00~12:00 (お茶会あり)

パート 33：2023年2月1日(水)

10:00~11:00 (ヨガ教室)

11:15~12:15 (ミニコンサート)



### 10月スピーカー・支倉紀正氏のご紹介

- ・昭和16年(1941年) 中華民国上海市生まれ
- ・平成13年(2001年) 電機メーカー定年退職(一時商社勤務) 60歳(1年間イタリア留学のため諸準備)
- ・平成14年(2002年) イタリア・ペルージャ外国人大学留学
- ・平成16年(2004年) 帰国、イタリア語教授法・文学課程取得
- ・帰国後は地元の市民センターにて「支倉イタリア語サークル」の講座を開催



2022年9月17日、岩手県一関市藤沢町にて、東北キリシタンの関連行事が行われました。クラブからは清水さん・大林さん・川上が参加しました。

藤沢町内には、市町村合併で編入された「保呂羽」と「大籠」という村があります。隣接するこの二つの村には、キリシタンのいわれが色濃く残されています。1639年、島原の乱の鎮圧に苦勞した江戸幕府は、キリスト教禁令を厳格化し、「大籠」でも200人もの殉教者が出ました。そして今から25年前、藤沢町が一関市に合併される直前、国の予算を用いて「大籠キリシタン殉教公園」と「キリシタン資料館」が開設されたのでした。その25周年記念事業として、一関市の予算を用いて、9月17日の午後、記念講演会が「藤沢文化センター・縄文ホール」にて開催されました。その関連行事として、同日の午前中、「保呂羽」の古刹・時宗 長徳寺にて、「切支丹殉教者合同慰霊祭」が行われたのでした。

殉教者の遺族は、江戸時代を通じて「キリシタン類族」と位置づけられ、被差別民として厳しい差別の中を何世代も生きて行くことになりました。長徳寺は、隣接する「大籠」での殉教の後、殉教者の遺族として生き残ったキリシタンの身元を引受け、その旦那寺となって、末代まで弔い続けてくださいました。

人は、死ねば皆、軀（むくろ＝遺体）となります。死体を「亡骸（なきがら）」と申します。もし遺体を弔わないと、どうなるでしょうか。遺体・軀・亡骸は、「物」として、焼却したり土中に埋めたりして、処理して行きます。ということは、私たちは皆、「処理される」存在となる運命にある、ということになる。もしそうであれば、私たちの尊厳は、かりそめのものとなります。病気になったり、けがをしたりして、役に立たなくなったりすると、自分の価値がなくなったような気がしてきます。それでも、自分が軽んじられるとき、そのことに抗議の声を上げることで、自分の尊厳を守ることができますが、死んだ後は、それもできません。だから、「弔う」ということは、人間の尊厳にとって、決定的に大切なこととなります。「弔う」という言葉は「訪う（とぶらう）」という言葉からきています。もし亡くなったとしても、その故人を偲び、記念し、思い出す。肉体が朽ちても、その人はいたのだ、と確認し合う。そうしてはじめて、遺体・軀・亡骸は「尊厳ある死者」として位置づけられる。そうしてはじめて、私たちは自分の尊厳を保持する。「弔うこと」で、はじめて、わたしたちは人間でいられる。

そう思うと、長徳寺様が長年の間ずっと続けてくださった「キリシタン類族」への供養は、本当にありがたいことだと思われました。その思いを、私は数年前、長徳寺の住職様にお伝えしました。その思いを汲み取って、住職様は「合同慰霊祭」をしてくださったのでした。

慰霊祭は、東北キリシタンの関係者が集合する機会となりました。仙台・伊達領の北限からは、水沢・後藤寿庵頭彰会の会長さんと、後藤寿庵記念教会の神父様。大籠・馬籠・米川の殉教地からは、「県際ネットワーク」の会長さん。石巻からは「サンファン館」の館長さん。そして、午後の講演会の講師には東北キリシタン研究会の代表と、東北歴史博物館の学芸主任のお二人が登壇されていました。

東北の被災地の復興は、交流人口の増加とネットワークにあると思います。その可能性を手繰り寄せる、これは大切な催事となりました。そこに参加できましたことは、本当に幸甚であったと思います。

(\*新聞記事は8頁をご覧ください)



←合同慰霊碑除幕式

↓慰霊碑の前で挨拶する川上牧師





# 理事メッセージ



2022-2023年度 東日本区理事  
佐藤 重良 (甲府21)

EMC100日間キャンペーン・推進の  
お願い

会員増強100日間キャンペーン(9月1日~12月9日)が始まり1か月が過ぎようとしています。皆様の部・クラブ

の推進状況はいかがでしょうか。国際会長・アジア太平洋地域会長からも、成果を出すように、連絡が来ております。9月号でもお願いしましたが、手順は下記のようにお願いしたいと考えております。

- ① 会員増強のチームを編成 (3、4人で1チーム)する。  
AチームはYMCAの関連の候補者  
Bチームは一般の・友人・知人の入会候補者
- ② チーム毎に入会候補者のリストアップ(フォームあり)
- ③ リストアップした候補者へ「例会」、「イベント」へのお誘いをする。
- ④ 12月23日に成果発表(予定)です。  
成果を期待しております。

### 新クラブ誕生の背景にあるもの

9月3日、甲府やまなみクラブが誕生しました。昨今のコロナ禍の中、新クラブ誕生までの経過をパワポにまとめました。(佐藤節子会員増強事業主任がアジア太平洋地域・EMCセッションで9月23日発表したものです)皆様にご披露したいと思います。(巻末添付資料参照)  
設立には大変長い間コロナ禍で苦心されたことと思

います。(準備委員会開始からチャーターまで、足掛け4年のうち中断18か月)その苦難を乗り越えて、設立されたことは「メンバーのみんなが、まちづくりに貢献しよう」との執念があったからだと思います。以下にまとめてみました

- ・スポンサークラブの記念事業としての後押し
  - ・国際の入会条件の緩和：これまでの15名以上から5名以上でも設立可となった事
  - ・東日本区Change! 2022の推進チームの後押しがあったこと
  - ・キーマンの新クラブ設立の情熱、強い信念
  - ・キーマンの熱心な説得力・リーダーシップ
  - ・2人のキーマンの強い絆と強固な人脈確保
- と数々の好条件があったと思いますが、最大の要因は「2人のキーマン」の諦めない・強い信念にあったと思います。心から、敬服と感謝申し上げます。

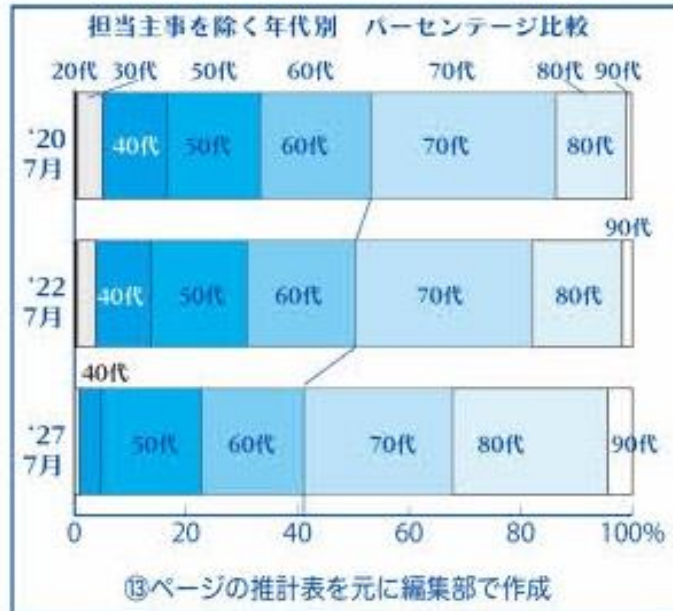
### 東日本区の平均年齢分析

(2022年7月1日現在)  
東日本区(58クラブの)の平均年齢表が完成しました

(小山憲彦さん・東京サンライズクラブ)  
大変ご尽力いただきました。ありがとうございます。主な事項を分析してみました

- 1 2022年7月 770名 平均年齢66.3歳
  - 2 最も平均年齢が高いクラブは、平均年齢82歳
  - 3 最低平均年齢46.5歳(東京ベイサイド)
  - 4 平均年齢75歳以上のクラブ数11クラブ  
全体の19%
  - 5 80歳以上のクラブ員の人数  
131名 全体の18%
- (いずれも担当主事を除く)

詳しくは巻末添付資料をご参照ください。〈次ページへ続く〉



## YMCA 報告



担当主事 斎藤 勉

(1) 仙台YMCA チャンピオンシップサッカー大会 10月16日(日)モリリン加瀬沼公園サッカー場にて第39回のサッカー大会が実施されました。約260名の子どもたちが参加し、保護者の方の声援もあり、3年ぶりに大いに盛り上がった大会となりました。大会当日は晴天に恵まれ、公園では多くの家族づれが遊んでいる姿も見られました。

### (2) チャリティゴルフ開催

10月20日(木)に泉国際ゴルフ倶楽部を会場に、第25回仙台YMCA チャリティゴルフが実施されました。76名の参加者し、晴天の下、スコアは別として、気持ちよくラウンドされたと聞きました。参加費とペナルティ、職員募金は支援金となり、ウォーターセーフティハンドブック2023、全国リーダー研修会の費用、こども支援基金となります。

(3) ステップⅡ(主事任用資格)研修について  
10月20日(木)~21日(金)の日程で、(次頁へ)





各 YMCA から指名を受けた 10 名と引率 1 名の 11 名が来仙され、仙台 YMCA のプログラム紹介、富沢児童館、YMCA 長町保育園を視察。21 日は朝 YMCA のバスに乗り込み、荒浜小学校、岩佐イチゴ農園を視察し、前半の集合研修を終えました。

(4) 岩佐イチゴ農園イチゴワーク

10月23日(日)にメンバーと保護者(親子)、YMCA サッカージュニアユースのメンバー9名、リーダー1名、スタッフ4名の16名で今年度4回目のイチゴワークをしてきました。今回は土耕栽培をしている苗の蔓取り作業(本株から新たに出てきた蔓)とマルチ(シート張り)のホチキス止めを行いました。

(5) 第51回仙台YMCAクリスマス

10月7日(金)18:30~第1回実行委員会が行われました。今年のクリスマス会は12月9日(金)18:00~19:30を予定しています。(昨年より30分延長)礼拝献金はウクライナ支援へ充てられる予定です。また、ウクライナから宮城県に避難されている方を招待したい等の意見が出ました。

昨年同様、食事提供はなし、ホテル専門学校留学生のお国自慢のダンス披露、クリスマスカード・サンタパンのプレゼントを予定しているとのことでした。当クラブの実行委員は川上直哉ワイズです。

**B F 代表来日は2023年3月に延期となりました**



B F (Building Fellowship)の受け入れ BF代表としてベルーのロクサーナさんご夫妻が、10月30日~11月14日まで東亜日本区を訪問し、その後可能であれば台湾を表敬訪問し帰国する予定です。日本到着時は千葉クラブメンバーが出迎え、その後10月30日~2日まで仙台へ、宮城4クラブ合同で歓迎会、YMCA表敬訪問、東日本大震災被災地視察等の後、東京へ移動、在京有志にて歓迎交流会。11月3日朝には甲府へ移動、山梨YMCA表敬及びバザーに参加、午後市内視察、夕方近隣4クラブ合同歓迎会、翌日4日には富士吉田へ向かい、富士五湖周辺を視察、横浜へ戻ります。5日横浜YMCA、クラブ訪問、夜交流会。6日には西日本区へバトンタッチとなっております。関係される部、クラブ部の協力をお願いします。

■ ウクライナ募金のお願い

**ウクライナへの募金についてお願い**

2022年12月31日まで実施中

「ウクライナ募金」について  
[東日本区の口座へ振込いただく場合]

◆振込口座  
ゆうちょ銀行からの場合  
ゆうちょ銀行  
口座記号番号 00110-0-362981  
他の金融機関からの場合は、振込者の名前しか記載されないののでゆうちょ銀行からの送金に統一致します。

◆振込取扱票(ゆうちょ銀行)への記入方法  
①「おなまえ」欄  
個人の募金者・氏名を記入(カッコ書きでクラブ名を記入) 献金者が誰かを特定クラブの場合・通信欄に「〇〇クラブの献金」と記入ください。  
②「ウクライナ」と通信欄に記入ください。

[クレジットカードで献金を頂く場合]  
下記QRコードもしくはURLはとちぎYMCAの: 払いページに繋がります。  
<https://www.tochigiymca.org/payment/bhp.php>

**ウクライナ緊急支援募金**  
このウェブサイトでは、クレジットカードを用いて1,000円から献金が可能です。



■ 切支丹殉教者合同慰霊祭記事

岩手日報 令和4年(2022)9月18日

藤沢・長徳寺

# 宗教超え 平和祈る

## 切支丹殉教者 慰霊祭 慰霊碑を除幕

「切支丹殉教者合同慰霊祭」神父と牧師と僧侶と祈る日。」は17日、一関市藤沢町保呂羽の長徳寺で営まれた。仏教やキリスト教関係者らを前に、大籠キリシタン殉教公園の開設25周年記念で建立した慰霊碑を除幕。キリシタン殉教の歴史を振り返りつつ、宗教の枠を超えて、命の大切さと世界平和への祈りをささげた。

同町の大籠地区は江戸時代、製鉄を担っていた300人を超すキリスト教信者が厳しい弾圧のために命を落としたりとされる。迫害に屈せず崇高な信仰の道を貫いた先達の歴史を伝えようと、1996年度までに同公園を整備。園内には大籠キリシタン資料館やクルス館、ローマ教皇ヨハネ・パウロ2世からのメッセジ碑、遊歩道などがある。

広域の宗門改帳による禁教令下でも同寺は潜伏キリシタンを檀家として受け入れ擁護してきたとい、1849(嘉永2)年には同寺の15世・智頼上人が切支丹慰霊碑を建立。今回、同公園25周年(2021年度)を記念し、約170年ぶりに新たな慰霊碑を建立する運びとなった。

境内に建てられた慰霊碑には当時の字体で記された「南無阿彌陀佛」の文字、中央部分の十字にくり抜かれたスベースには「たたら製鉄」の再現実験が飾られた。製作された風鈴が飾られた。同寺の23世・渋谷直之住職をはじめ、カトリック水沢教会の高橋昌神父、日本キリスト教団石巻栄光教会の川上直哉牧師ら関係者が除幕し、祈りをささげた。

渋谷住職は「運いを見るのではなく、同じ方向を見る。カトリック、プロテスタント、仏教。宗教を超えて今われわれができることを後世へ伝えていく。まさに今の時代に必要なのは平和の第一歩になるのではないか」と思いを語った。本堂では、保呂羽の石室内で1944(昭和19)年に発見された銅製の十字架(北上市・岩崎地区交流センター所蔵)などを一般公開。合同慰霊祭が行われ、参加者が史実を伝承していく誓いを新たにされた。

長徳寺境内に新たに建立された慰霊碑を除幕する  
仏教、キリスト教関係者ら

Wondershare PDFElement